

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	消防費		第 6 節	日常の身近な安全性を高める		()	
	3 目	消防施設費		(2)	消防・救急救助を充実する		()	

小 事 業	消防施設関係費
-------	---------

事 業 名	耐震性貯水槽整備事業
-------	------------

目的及び事業内容	災害等発生時における無水利地域の水利確保のため、耐震性貯水槽を整備することにより、地域住民の安心・安全生活の確保と災害対策の更なる充実を図る。
----------	---

取 組 実 績	無水利地域へ耐震性貯水槽を4基新設した。														
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>設置箇所</th> <th>設置基数</th> <th>容量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大森字日影地内</td> <td>1基</td> <td>40m³</td> </tr> <tr> <td>雄勝町大浜字小滝浜地内</td> <td>1基</td> <td>40m³</td> </tr> <tr> <td>和渕字北和渕地内</td> <td>1基</td> <td>40m³</td> </tr> <tr> <td>鮎川浜伊勢下地内</td> <td>1基</td> <td>40m³</td> </tr> </tbody> </table>	設置箇所	設置基数	容量	大森字日影地内	1基	40m ³	雄勝町大浜字小滝浜地内	1基	40m ³	和渕字北和渕地内	1基	40m ³	鮎川浜伊勢下地内	1基
設置箇所	設置基数	容量													
大森字日影地内	1基	40m ³													
雄勝町大浜字小滝浜地内	1基	40m ³													
和渕字北和渕地内	1基	40m ³													
鮎川浜伊勢下地内	1基	40m ³													

成 果	無水利地域へ耐震性貯水槽を設置したことで、地域住民の安心・安全生活の確保と消防施設の充実、強化が図られた。
-----	---

成果に係る評価	火災等の災害から住民の生命と財産を保護するため、無水利地区への水利確保は必要であり、耐震性貯水槽の整備を継続していく必要がある。
---------	--

予算の執行状況	(単位：円)				
	予算額	決算額	決算額の財源内訳		
			国(県)支出金	地方債	その他
28,800,000	28,478,100	10,472,000	17,100,000		906,100

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()	
	1 項	消防費		第 6 節	日常の身近な安全性を高める		()	
	3 目	消防施設費		(2)	消防・救急救助を充実する		()	

小 事 業 消防自動車関係費

事 業 名 非常備消防自動車整備事業

目的及び事業内容 消防車両を整備することにより、消防設備の充実と地域消防力の向上を推進し、地域住民が安全で安心して生活できる環境の確保を図る。

取 組 実 績 消防車両更新計画に基づき、消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ付積載車4台・小型動力ポンプ2台、計7台を整備した。

車 種	台 数	配 置 場 所
消防ポンプ自動車	1台	桃生消防団第5分団樫崎班
小型動力ポンプ付積載車	4台	石巻消防団第3分団第2部五軒屋敷班 河北消防団第1分団第1部飯野川班 河南消防団第1分団第2部大番所班 河南消防団第2分団第2部山根班
小型動力ポンプ	2台	牡鹿消防団第2分団十八成班 牡鹿消防団第7分団大谷川班

成 果 非常備消防車両等を整備したことにより、消防設備の充実と地域消防力の向上が推進され、地域住民が安全で安心して生活できる環境の確保が図られた。

成果に係る評価 火災等の災害から地域住民の生命と財産を保護し、安全で安心して生活できる環境の確保のため、非常備消防車両の更新整備は計画的かつ継続的に行う必要性がある。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	45,500,000	44,257,500	14,752,000	28,000,000		1,505,500

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 4 章	安心して健やかに暮らせるまち	復興計画	()										
	1 項	消防費		第 6 節	日常の身近な安全性を高める		()										
	3 目	消防施設費		(2)	消防・救急救助をを充実する		()										
小 事 業		消防施設関係費（緊急総合経済対策分）															
事 業 名		消防団ポンプ置場整備事業〔きめ細〕															
目的及び事業内容		消防団の活動拠点として、消防団ポンプ置場を整備し、地区住民の安全で安心して生活できる環境の確保を図る。															
取 組 実 績		<p>手引き小型動力ポンプから小型動力ポンプ付積載車へ変更したことにより、駐車スペースが狭あいになったため、消防ポンプ置場を2棟整備するもの。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">ポンプ置場名称</th> <th style="width: 33%;">建築場所</th> <th style="width: 33%;">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>河北消防団第1分団第1部飯野川班</td> <td>石巻市相野谷字飯野川208番1</td> <td>設計業務・木造平屋建 86㎡</td> </tr> <tr> <td>河南消防団第1分団第2部大番所班</td> <td>石巻市北村字久米田79番1</td> <td>設計業務・鉄骨平屋建 33㎡</td> </tr> </tbody> </table>							ポンプ置場名称	建築場所	事業内容	河北消防団第1分団第1部飯野川班	石巻市相野谷字飯野川208番1	設計業務・木造平屋建 86㎡	河南消防団第1分団第2部大番所班	石巻市北村字久米田79番1	設計業務・鉄骨平屋建 33㎡
ポンプ置場名称	建築場所	事業内容															
河北消防団第1分団第1部飯野川班	石巻市相野谷字飯野川208番1	設計業務・木造平屋建 86㎡															
河南消防団第1分団第2部大番所班	石巻市北村字久米田79番1	設計業務・鉄骨平屋建 33㎡															
成 果		<p>ポンプ置場を新築することにより、地域防災拠点の確立と消防力の強化及び地区住民の安全で安心して生活できる環境の確保が図られた。</p> <p>なお、飯野川班、大番所班とも、東日本大震災の影響により、資機材や労務者の確保が困難となったため事故繰越となったもの。</p>															
成果に係る評価		地域防災拠点の確立と地域住民の安全で安心して生活できる環境の確保のため、ポンプ置場を計画的に整備していく必要がある。															
（単位：円）																	
予算の執行状況		予算額	決算額	決算額の財源内訳													
				国(県)支出金	地方債	その他	一般財源										
		22,600,000	1,575,000	1,575,000													

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり																												
	1 項	消防費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築																												
	5 目	災害対策費		()		(2)	情報伝達手段の整備																												
小 事 業	災害対策費（東日本大震災関係分）																																		
事 業 名	衛星系通信手段配備事業																																		
目的及び事業内容	東日本大震災の教訓を踏まえ、本庁、各総合支所、各支所及び離島との災害時における通信手段を確保するため、衛星携帯電話の配備を行うもの。 また、孤立可能性集落についても、衛星携帯電話の配備を行い、固定電話及び携帯電話回線が途絶えた場合に備えるもの。																																		
取 組 実 績	<p>本庁及び総合支所、各支所へ衛星携帯電話の配備を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>配備数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>本庁</td><td>6 台</td></tr> <tr><td>稲井支所</td><td>1 台</td></tr> <tr><td>荻浜支所</td><td>1 台</td></tr> <tr><td>渡波支所</td><td>1 台</td></tr> <tr><td>蛇田支所</td><td>1 台</td></tr> <tr><td>河北総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>雄勝総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>河南総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>桃生総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>北上総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>牡鹿総合支所</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>田代島・網地島</td><td>2 台</td></tr> <tr><td>計</td><td>24 台</td></tr> </tbody> </table>							地区	配備数	本庁	6 台	稲井支所	1 台	荻浜支所	1 台	渡波支所	1 台	蛇田支所	1 台	河北総合支所	2 台	雄勝総合支所	2 台	河南総合支所	2 台	桃生総合支所	2 台	北上総合支所	2 台	牡鹿総合支所	2 台	田代島・網地島	2 台	計	24 台
地区	配備数																																		
本庁	6 台																																		
稲井支所	1 台																																		
荻浜支所	1 台																																		
渡波支所	1 台																																		
蛇田支所	1 台																																		
河北総合支所	2 台																																		
雄勝総合支所	2 台																																		
河南総合支所	2 台																																		
桃生総合支所	2 台																																		
北上総合支所	2 台																																		
牡鹿総合支所	2 台																																		
田代島・網地島	2 台																																		
計	24 台																																		
成 果	<p>本庁、各総合支所、各支所及び離島への衛星携帯電話の配備は年度内に完了し、非常時における通信手段の確保が図られた。 なお、孤立可能性集落に対しての配備は、全国的な需要増に伴う年後内の納入が困難だったため、次年度へ繰越となった。</p>																																		
成果に係る評価	<p>衛星携帯電話の配備を行うことにより、固定電話や携帯電話回線が遮断された場合のバックアップが図られ、大規模災害発生時における防災拠点となる本庁、総合支所、支所間の通信手段の確保が図られた。</p>																																		
予算の執行状況	(単位：円)																																		
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源																													
13,860,000	13,860,000				13,860,000																														

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	消防費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築
	6 目	東日本大震災関係費		()		(1)	防災施設の整備

小 事 業 災害対策費（東日本大震災関係分）

事 業 名 庁舎災害時対策事業

目的及び事業内容 東日本大震災時、本庁舎では庁舎1階が浸水し外部との出入りが不能となり、災害情報の収集や避難所への物資の配付等に支障を来した。このことを踏まえ、防災拠点となる本庁舎及び総合支所等の浸水時の対策として浸水対策用ボートの配備を行い、機能強化を図るもの。

取 組 実 績

浸水対策用ボート等の配備を行った。

配備場所	折り畳み式ボート	救命用ボート	救命胴衣	救命浮輪
本庁舎	5 台	1 台	21 個	6 個
渡波支所	1 台		3 個	1 個
稲井支所	1 台		3 個	1 個
荻浜支所	1 台		3 個	1 個
蛇田支所	1 台		3 個	1 個
河北総合支所	1 台		3 個	1 個
雄勝総合支所	1 台		3 個	1 個
河南総合支所	1 台		3 個	1 個
桃生総合支所	1 台		3 個	1 個
北上総合支所	1 台		3 個	1 個
牡鹿総合支所	1 台		3 個	1 個
計	15 台	1 台	51 個	16 個

成 果 浸水対策用ボート等の配備を行うことにより、浸水時の情報収集活動等が可能となり、防災拠点となる本庁舎及び総合支所等の機能強化が図られた。

成果に係る評価 今回は、東日本大震災の教訓を踏まえ、庁舎が浸水した場合の緊急的な対策を講じた。今後は、浸水が予測されない地区への整備の検討も必要である。

(単位：円)

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	6,961,500	5,758,095				5,758,095

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり	
	1 項	消防費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築	
	6 目	災害対策費		()		(1)	防災施設の整備	
小 事 業	災害対策費							
事 業 名	災害用備蓄配備事業							
目的及び事業内容	<p>避難所開設時における初期運営の円滑化と避難生活当初の安定を図る。 震災前も毛布や食糧、災害用トイレなどの備蓄を行ってきたが、震災を踏まえ、指定避難所となっている学校や孤立する恐れのある半島部を基本とし必要物資、必要数を再検討し備蓄するもの。 今後は、食糧50,000食、飲料水50,000本、災害用毛布25,000枚の配備を計画的に実施する。また、災害用トイレ、発電機、燃料、懐中電灯などの備品配備も実施する。</p>							
取 組 実 績	<p>災害用簡易組立式仮設トイレ 2基 (稲井小学校・東浜小学校へ配備) 避難所用ラジオ 270個 (今後、各小学校等の避難所へ配備予定) 備蓄用非常食 4,000食 (牡鹿総合支所1,000食・雄勝総合支所1,000食 北上総合支所1,000食・荻浜支所1,000食)</p>							
成 果	<p>災害用簡易組立式トイレ、避難所用ラジオ、備蓄用非常食を配備する事により、避難所開設時における、初期運営の円滑化と避難生活当初の安定が図られた。</p>							
成果に係る評価	<p>今後、各避難所に食糧や飲料水等、その他必要な物資を可及的速やかに配備する必要がある。</p>							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額		決算額		決算額の財源内訳			
					国(県)支出金	地方債	その他	一般財源
	2,662,000		2,339,715					2,339,715

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(1)	みんなで築く災害に強いまちづくり
	1 項	消防費		第 節		(1)	新たな防災体制の構築
	6 目	東日本大震災関係費		()		(3)	防災対策の見直し
小 事 業	災害対策費（東日本大震災関係分）						
事 業 名	災害検証及び災害対応マニュアル作成事業						
目的及び事業内容	東日本大震災は、かけがえのない多くの生命や財産を一瞬のうちに奪い、本市に未曾有の被害をもたらした。今回の災害状況及び災害対応は、石巻市地域防災計画で想定されていた災害対応を遥かに超えたものとなり、職員の初動体制をはじめ関係機関との協力関係など抜本的な見直しが必要となった。その前提として、東日本大震災災害検証と石巻市災害対応マニュアル（暫定版）を策定するもの。						
取 組 実 績	1 東日本大震災災害検証関係 (1) 災害状況の整理 (2) 災害対応の整理 (3) 警戒避難体制の検討 (4) 地域防災計画の課題 (5) 今後の課題 2 石巻市災害対応マニュアル（暫定版） (1) 地震発生直後の初動活動 (2) 初動体制 (3) 災害対策本部の設置 (4) 情報の収集と伝達 (5) 避難情報の発表 (6) 体制と分掌 (7) 各部班の初動活動						
成 果	1 東日本大震災災害検証 東日本大震災災害検証を災対各部、関係機関、市民に公開することにより、市等で実施又は計画されている様々な事務事業において、地震及び津波対策等への対応が図られる。 2 石巻市災害対応マニュアル（暫定版） 石巻市災害対応マニュアル（暫定版）については、石巻市地域防災計画の見直しが完了するまでの間における、職員の災害対応の基本となるべきものとして活用される。						
成果に係る評価	今後、この検証等に基づき石巻市地域防災計画の改定を早急に実施する必要がある。						
予算の執行状況	（単位：円）						
	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源	
8,000,000	6,300,000				6,300,000		

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す						
	1 項	消防費		第 節		(4)	各種公共施設の復旧と復興						
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	消防施設等の復旧・再編						
小 事 業	消防自動車関係費（東日本大震災関係分）												
事 業 名	常備消防自動車整備事業												
目的及び事業内容	東日本大震災で被災し使用不能となった消防車両を補充することにより、火災等の災害からの地域住民の安全確保と安心安全な暮らしの実現に向け、地域消防力の充実と強化を図るもの。												
取 組 実 績	<p>東日本大震災で被災し、使用不能となった化学消防ポンプ自動車1台を整備した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>車 種</th> <th>台 数</th> <th>配 置 場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学消防ポンプ自動車</td> <td>1台</td> <td>石巻消防署南分署</td> </tr> </tbody> </table>							車 種	台 数	配 置 場 所	化学消防ポンプ自動車	1台	石巻消防署南分署
車 種	台 数	配 置 場 所											
化学消防ポンプ自動車	1台	石巻消防署南分署											
成 果	常備消防車両を整備したことで、地域住民の安全で安心して生活できる環境の確保と消防設備の充実及び地域消防力の向上が図られた。												
成果に係る評価	火災等の災害から地域住民の生命と財産を保護し、安全で安心して生活できる環境の確保のため、常備消防車両の更新整備は計画的かつ継続的に行う必要性がある。												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源							
44,000,000	43,785,000			43,785,000									

予算科目	9 款	消防費	総合計画	第 章	復興計画	(2)	市民の不安を解消し、これまでの暮らしを取り戻す								
	1 項	消防費		第 節		(4)	各種公共施設の復旧と復興								
	6 目	東日本大震災関係費		()		(2)	消防施設等の復旧・再編								
小 事 業	消防自動車関係費（東日本大震災関係分）														
事 業 名	非常備消防自動車整備事業														
目的及び事業内容	東日本大震災で被災し使用不能となった消防車両を補充することにより、火災等の災害からの地域住民の安全確保と安心安全な暮らしの実現に向け、地域消防力の充実と強化を図るもの。														
取 組 実 績	<p>東日本大震災で被災し、小型動力ポンプ付積載車3台を整備した。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>車 種</th> <th>台 数</th> <th>配 置 場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小型動力ポンプ付積載車</td> <td rowspan="3">3台</td> <td>石巻消防団第8分団第2部志ノ畑班</td> </tr> <tr> <td>河北消防団第2分団第2部本地班</td> </tr> <tr> <td>北上消防団第1分団大須班</td> </tr> </tbody> </table>							車 種	台 数	配 置 場 所	小型動力ポンプ付積載車	3台	石巻消防団第8分団第2部志ノ畑班	河北消防団第2分団第2部本地班	北上消防団第1分団大須班
車 種	台 数	配 置 場 所													
小型動力ポンプ付積載車	3台	石巻消防団第8分団第2部志ノ畑班													
		河北消防団第2分団第2部本地班													
		北上消防団第1分団大須班													
成 果	非常備消防車両を整備したことで、地域住民の安全で安心して生活できる環境の確保と消防設備の充実及び地域消防力の向上が図られた。														
成果に係る評価	火災等の災害から地域住民の生命と財産を保護し、安全で安心して生活できる環境の確保のため、非常備消防車両の更新整備は計画的かつ継続的に行う必要性がある。														
予算の執行状況	(単位：円)														
	予算額	決算額	決算額の財源内訳												
			国(県)支出金	地方債	その他	一般財源									
22,000,000	18,637,500			16,215,000	2,422,500										